

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成<sup>25</sup>~~24~~年<sup>1</sup>~~12~~月 (2012年) No.565

## 新年のご挨拶

今年も前向きで明るく、よき人生でありますように  
 会長 合原一夫

あけましておめでとうございます。暮れから厳しい寒さが続いておりますが、皆さん風邪などにかかっていますか。年を取ると一寸した風邪でも肺炎になったり命にかかわる大事に至ることがあると言います。用心して風邪や転んだりして骨折などしない様、体を大事にしていきましょう。その上で映像の方も楽しくやってみましょう。

昨年度の例会活動を調べてみました。出席者は1例会当たり、22年度が26.5人、23年度23.8人、昨年24年度は22.3人と1.2人減りました。会員の平均年齢が毎年上がってきているので、夜の例会は出にくくなった方など、増えてきたことの証でしょうか。

一方例会へ出品される作品数は、22年度13.2本、23年度13.8本、そして昨年の24年度は13.1本と、ほぼ横ばいで状態で毎月時間一杯の上映で盛会が続いていることはご同慶の至りです。昨年も毎月出品(12作品)して頂くご熱心な方が8名、11作品出品の方が3名居られました。こうして作品を多く作られる方は皆さんお元気です。元気で国内を或いは海外へ出かけて行ってバリバリと活動していらっしゃることに脱帽です。元気で映像が楽しめる、そして仲間と交流し盛り上がるということは、人生の最高の幸せではないでしょうか。

私は公私共に多忙にかまけて、このところ映像に取り組む気持ちのゆとりを無くしてしまいました。皆さんの活躍ぶりを垣間見て、今年も何か1本でも作らなくちゃと新年にあたって考えているとことですが、このところ機材や編集環境がどんどん進化?して行って、皆さんについて行けなくなった感じがしています。まあ、技巧に頼らず簡単なカットつなぎで内容重視の作品を目指して、とにかく今年も頑張ります。本年もどうぞよろしく。

### 1月例会と総会及び新年会のお知らせ

1月例会は通常と異なり第2日曜日13日午後1時より開催しますのでお間違いの無いように、又会場が第3研修室となりますのでご注意ください。例会終了後、休憩をはさんで総会を行います。新年会は17時頃より5階のレストランで開催します。出欠ハガキを出していない方は至急送ってください。



## 平成24年度例会記録

クラブ活動は、趣味仲間が定期的に集まって楽しいひとときを過ごすもの、その円滑な運営が望まれます。まず会員の皆さんが集まること、そして作ってこられた作品を上映し、その出来栄を皆さんに見てもらってあれこれ感想を述べ合うこと…。

これから考えていきますと、集まる人が少しずつ減ってきているという感じがしています。高齢化と共にこれは致し方ないことかなと思います。作品出品数はそれほどの減少は見られませんでした。

## 最近5年間の例会記録

年度	会員	1例会当り		年間 作品数
		出席数	作品数総	
20	40	26.8	16.4	207
21	40	28.1	15.6	197
22	40	26.5	13.2	169
23	39	23.8	13.8	172
24	36	22.3	13.1	166

注)年間作品数には撮影会作品9本を含む。但し、1例会当り平均値には含めず。

これを見ますと会員数そのものが3名減少しています。出席者は少し減ったのも当然といえば当然ですが、作品数はその割にはあまり減っていないのは、ご熱心で作ってこられる方が多く残っておられることの証でしょうか。

さて、作品の録画形式ですが大幅に変わってきました。従来のDV(DVDを含む)形式が、たったの3.2%に激減したのに対しハイビジョン形式(BD、HDV)は96.8%を占めるに至りました。

## 録画方式の推移(百分率)

年度	DV	W	HVD	HDV	BD
20	12.1	11.1	—	76.8	—
21	3.7	11.8	—	84.5	—
22	7.1	8.9	—	84.0	—
23	8.5	1.8	—	81.2	8.5
24	1.6	0	1.6	61.1	35.7

注)BDにはSDカード方式も含む。

ブルーレイディスクは、特に平成24年度の後半に急増したもので、上映機器環境

が整備されたことが大きいと思います。これに対し各会員さんもブルーレイディスクで録画される自分の編集環境をととのえておられることを示し、すごいなあと思っています。確かにブルーレイディスクは映像がきれいで、DVDとは大ちがいです。

同じハイビジョンでもDVテープで完成される方もまだ居られます。撮影はミニDVテープが今まで主流でしたが、最近はカード方式しか手に入らなくなったようで、テープ方式のカメラが故障したら困ったもんだと懸念しているところです。もっともミニDVテープの生産はまだ続けられる筈だと希望的観測をしているのですが…。

■お知らせ：宮井健さんが退会されました。他のクラブでご活躍されるようです。

## 12月例会のレポート

12月も押し詰まった第4土曜22日、今年最後の例会を迎えました。午後からの幹事会や世話役会を開催していましたので、世話役の方々は引続きの例会及び2次会で多忙なる一日となりました。今月は久しぶりに、江藤さん、岩井さん、田中さんのお顔が見え、何かほっとしたのを感じました。皆さんお元気で来年も来て頂くことを願っております。それにしても、この頃は例年になく寒い日が続いております。この寒い夜に21名の方が出席され盛会となりました。

司会は有村氏、書記、合原氏、上映担当は河合、江村、井上の3氏、受付兼照明係には退会された宮井氏に替って宮崎さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、江村、岩井、江藤、岡本、上総、紙本、河合、黒田、合原、関、進藤、高瀬、田中、西村、華岡、前田、宮崎、森口、森下の21氏(敬称略)

◆上映作品(今月の講評は合原会長です)

1. 荒木撰津守村重(BD)

紙本 勝さん 14分50秒

作者お得意の歴史物語ですが、今回の作品の舞台が近畿で近いところなので関心深



く拝見いたしました。信長の時代で池田城の池田長政の小姓だった村重の波瀾万丈の生涯を調べられ、関連する城址へ行かれて撮影され、そのご熱心さには頭が下がります。

歴史ものは、現在残っているものが少ないので、画面だけでは見る人に伝わらず、どうしてもナレーションが多くなります。

そのナレーションを書くには資料を集めたり、現地の古老に聞いたりと大変な労力と苦勞を伴います。紙本さんはお元気で勉強家なので、この分野に積極的に取り組んでおられ、そのご努力に敬意を表します。

## 2. パフォスの遺跡群 (BD)

華岡 汪さん 10分59秒

地中海に浮かぶキプロス島へ観光に行かれた時の記録です。古い遺跡が多く残っており、なかでもパフォスという街は、街全体が世界遺産に登録されているそうです。

キプロスがどういうところか、イメージは掴めましたが、現地音が全く無いので、異国情緒が平面的になってしまったのは残念です。現地では人のざわめき、鳥の声、波の音、車の音、ガイドさんの声など、目からだけでなく、耳からも伝わってこそ異国の雰囲気や立体的に伝えるものです。

8ミリフィルム時代には、現地音を録音しようとする必要があったので、面倒なので映像だけで、あとは編集時に音楽とナレーションだけで作品を作るのは普通でした。ところがビデオになってからは同時録音が当たり前の時代になったのです。特に海外旅行では、音（雑音と思われるものでもいい）も現地の雰囲気や伝える大事な要素です。遺跡を見ながら遠くの波の音、鳥の声、現地の人の声…、BGM なんか邪魔になるだけです。この作品では BGM は半分以下ではないのでしょうか、再構成をしてみてください。きっと良い作品になりますよ。

## 3. 三十年目の羅漢さん (BD)

高瀬辰雄さん 7分30秒

嵯峨野の秋、紅葉がきれい、この見事な紅葉の下に愛宕寺の羅漢さんがずらりと並んでいます。すっかり苔むして古さを感じますが、この羅漢さんは、寺の再興を願って西村公朝さんという仏師が、一般市民を

集めて羅漢さんを彫るのを指導して作られたもので、昭和 56 年から 10 年かけて 1200 体が彫られたとあります。その後 30 年後の今日の羅漢さんが紅葉の下にずらりと並んだ光景は嵯峨野にすっかりとけ込んでいます。作者は彫るところのモノクロ映像と現在の羅漢さんとを並べてうまくストーリーを構成されていて秀作となりました。

## 4. 龍馬誕生祭 (BD)

江村一郎さん 7分40秒

高知市には龍馬生誕先というイベントが毎年行われていて今年 31 回目だそうです。

街にはさむらい姿の男も見掛けます。夕方にはチョーチン行れるも行われていました。舞台や街では賑やかな踊りが楽し気ですが、どうしても踊りは「よさこい祭」のイメージと重なってしまいます。そこはお得意の江村調の撮影でうまくリズムに乗ってさすがだと思いました。坂本龍馬は高知の生んだ歴史的偉人なんだと郷土の誇りなんでしょうね。

## 5. 宇出津のあばれ祭り (全編・HDV)

河合源七郎さん 15分10秒

10 月例会で前編約 8 分、11 月例会で後編凡そ 14 分、合せて 22 分の作品を 1 本にまとめられ 15 分の作品に仕上げられました。

この方がむしろ全体が判って良くなったと思います。それにしても能登のキリコ祭りを何年もかけて追いかけて撮影されているご努力には敬意を表します。内容は前編の講評にくわしく述べられていますので省きますが、記録ものは内容が豊富であればあるだけ、どうしても切り難く長くなりがちです。何部かに別けるのも一つの方法ですが、公開映写会やコンテストに出す場合にはそれでは採用されません。長編はそれは記録として割り切り、一般向けには短かくいい場面、伝えたいところを中心に構成すべきです。その意味で前編後編を短くして 1 本にまとめられたのは正解でした。

## 6. 紅葉の長谷寺 (BD)

有村 博さん 5分19秒

花のお寺、紅葉の頃の長谷寺の景観も良いですね。今年は夏の猛暑から一転して寒くなったので紅葉が例年になくきれいだったか。お寺さんと紅葉との取り合わせは実に



合っていて見事です。音楽が軽快な明るい BGM なのが一寸違和感があり、もっと落ち着いた曲の方がしっとりとした情感に浸れたのではないか、そんな思いがしました。

#### 7. 貴船路暮色 (BD)

森口吉正さん 8分40秒

森口さんは年々作品づくりが上手になってこられました。いつもの名水紀行と違って、京の奥座敷ともいわれる貴船の夕方から夜にかけての情景をうまくとらえられています。ナレーションも判りやすく明瞭に語られていて良かったと思います。貴船神社の境内に湧き出る「ご神水」など森口さんならではの描写です。ラストシーンの貴船川の水面に浮かぶ灯ろう流しのカットは幻想的でよかったです。

#### 8. 京焼の里をたずねて (DVD)

岡本至弘さん 13分00秒

8 ミリフィルム作品をテレシネした往年の撮影会作品です。どこのクラブの撮影会だったか覚えていないと作者、女性記者がカメラ持参で京焼の里を訪ねて、やきものの工程を見せてもらい撮影するという設定の脚本です。フィルム作品ですがから現場音は一切なく、ナレーションと BGM のみの作品で、いかにも 8 ミリ映画といった印象を受けました。懐かしい思いで拝見いたしました。今もあの京焼の里は存在するのだろうか、ふと考えたりもしました。

#### 9. 秋をもとめて (BD)

進藤信男さん 7分40秒

題名から「秋」をテーマにどのように描かれた作品かなと思っていましたが、内容は、草津の東、湖南地方で現在「湖南省」となっているところの 3 つのお寺さんを訪ねられ、お寺さんを紹介するものでした。

湖南三山と云われるのは、岩根山の善水寺、阿星山の長寿寺（国宝）と常楽寺の 3 つの寺を合せた呼び名だそうです。小じんまりしたお寺さんですが、それぞれ長い歴史と云われがある古いお寺さんです。OMC の会員さんでも行ったことのある方はほとんど居ないと思います。初めて知るお寺さんでした。題名ですが、「秋・湖南三山」或いは「湖南三山を訪ねて」等いかがでしょうか。

#### 10. 南西フランスを旅して (HDV)

江藤洋司さん 6分29秒

江藤さん、今年 1 月例会ご出席以来のご出席で凡そ 11 ヶ月ぶりに元気なお顔に接してうれしかったです。はるか豊橋から新幹線に乗ってのご出席でご苦労さまでした。前回は今回の場所と同じく、フランスのワイン農家を訪ねられたときの記録です。こういう外国の地の農家にどういうツテで行かれるのか興味があるところで、うまくまとめれば、誰にも出来ない良い作品になり得ると思うのですが残念ですね。第一ナレーションが聞きづらくてはつきりと理解できないということ。声が小さいのと明瞭さに欠ける、早口であること等でしょうが、もっとゆっくり、はつきり原稿を読む練習をしてみてください。又、ナレーションの入るところの BGM の音量をぐっと下げる等の基本事項の勉強をぜひお願いしたいと思います。作品構成の作文を書く要領で何を主に伝えたいか、ねらいを絞って話の組立てを考えられるきつと良い作品が出来ますよ。頑張っって若い力を発揮されることを期待しています。

#### 11. 信楽寸描 (BD)

進藤信男 9分50秒

前月上映したものですが、出席されていない方が居られたので再度上映されたもの。今年の OMC 撮影会予定地の映像をうまく現地の様子をまとめられています。

#### 12. ヴァーツラフ広場 (DV)

関 剛さん 8分00秒

凡そ 20 年ほど前に行かれた海外旅行の作品で舞台はチェコ・プラハの街です。プラハは欧州の民主化が始まった地とも言われ政治に翻弄された古い街です。重厚な建物が並ぶ街並みは歴史の重みを感じさせてくれます。作者はこの街に三泊され、うち一日は自由行動だった由。おかげで街のあちこちでじっくりとカメラを構えて撮影されています。特に露天で老婆が彫りものをするシーンが印象的、ここでは音楽を消して現録をしっかりと活かされていました。

これで例会を終了し、喫茶組と居酒屋組に別れ今年最後の二次会を楽しみました。